

養蚕農家調査の結果について

一般財団法人 大日本蚕糸会
令和7年1月

1. 調査概要	〈1〉
2. 繭生産量区分別の農家等の戸数・割合	〈2〉
3. 農家の年齢構成と生産規模と生産量	〈3〉
4. 農家の経営主の年齢構成と後継者の有無	〈4〉
5. 養蚕農家の複合経営の状況	〈5〉
6. 農家の経営主の年齢と将来の生産規模に対する意向と課題	〈6〉
7. 養蚕を継続していく上での課題	〈7〉
8. 5年後の生産量予測と諸課題が解決した場合の予測の変化	〈8〉
9. 養蚕を継続する上で更新が必要な機材	〈9〉

1. 調査概要

期 間：2024年9月27日～11月13日

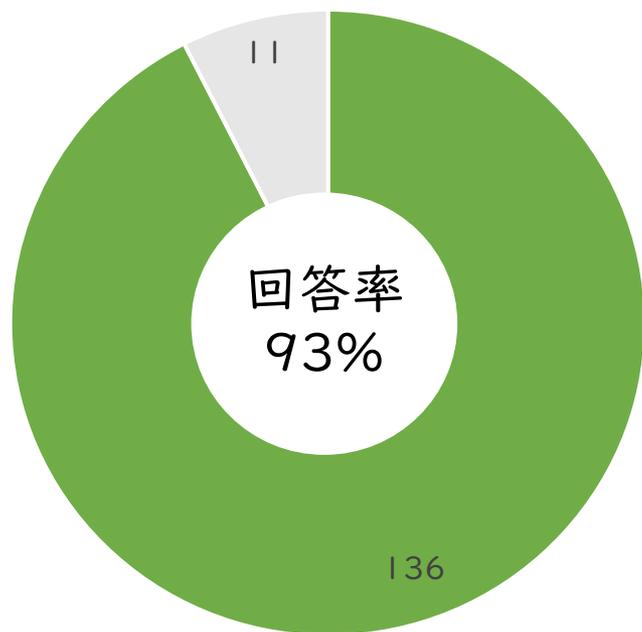
対 象：蚕糸・絹業提携グループに所属している養蚕農家及び企業・団体

(以下、「農家等」という。) 合計147戸

方 法：各県養蚕技術員等通じ、調査票をメールにて送付、回収

調査項目：経営主の年齢、生産規模、後継者の有無、今後の経営方針、経営上の課題等

(調査票は末尾に添付)



■ 回答(136戸) ■ 未回答(11戸)

(8戸は養蚕を継続中、3戸は2024年に廃業)

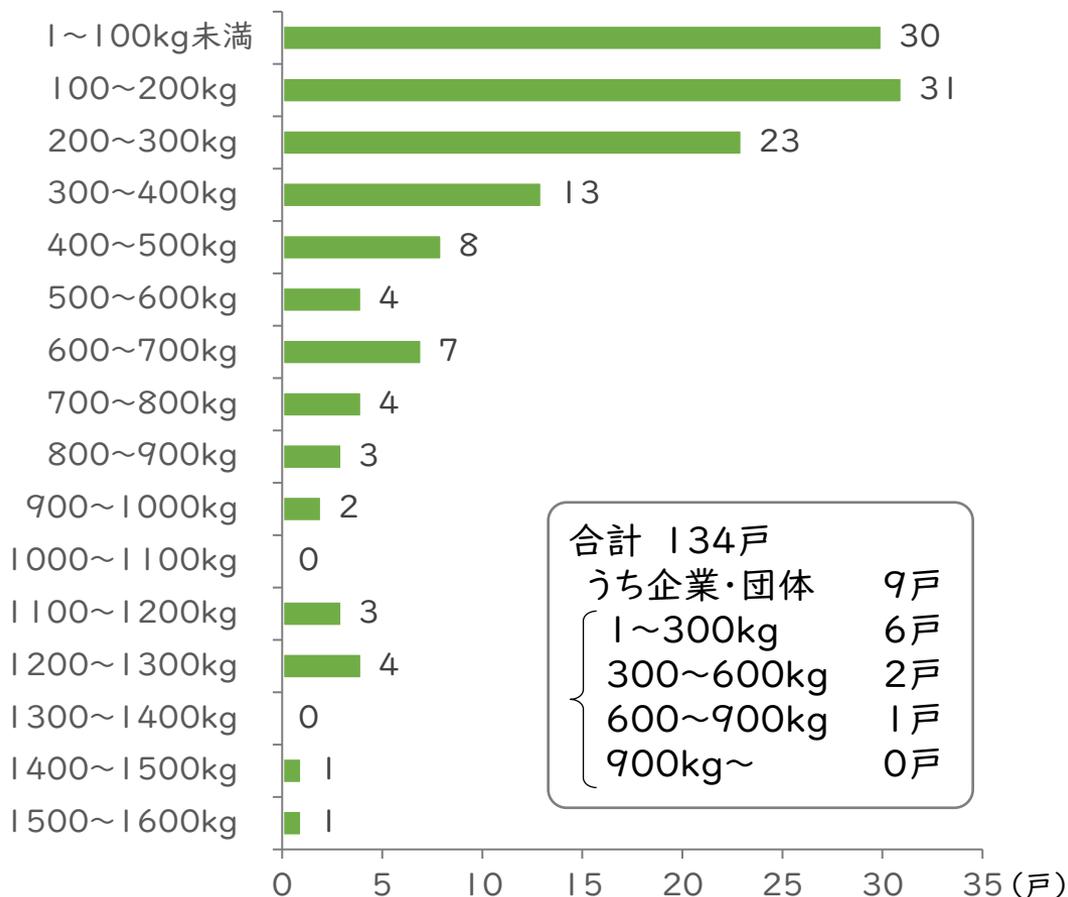
【回答者内訳】

	回答数
農家 (うち、2024年に新規参入)	114 (2)
企業・団体	9
2024年に廃業した農家	13
合計	136

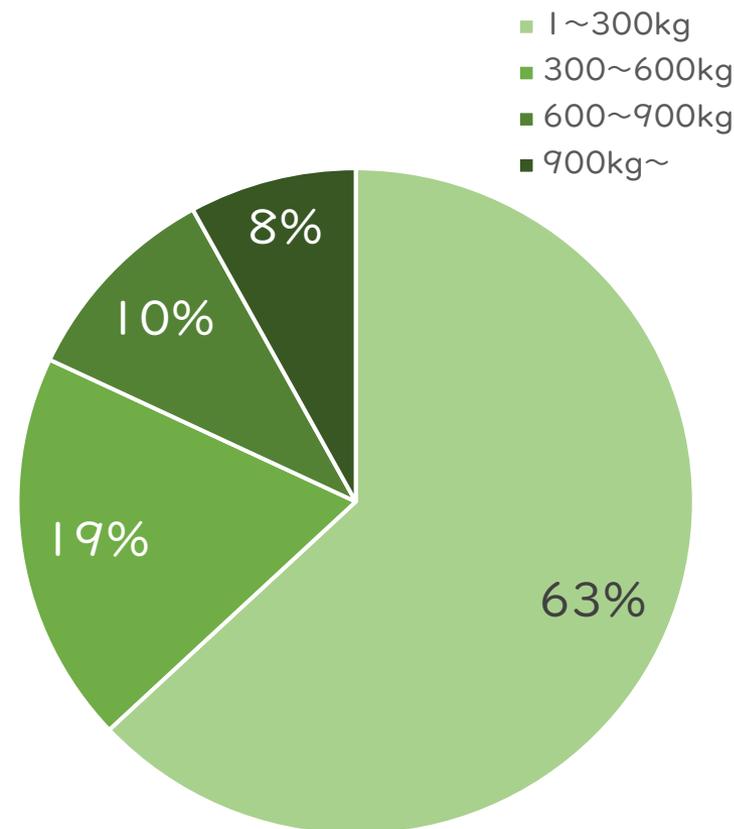
2. 繭生産量区分別の農家等の戸数・割合

2023年度の繭生産量は合計45,263kg。一戸当たりの平均生産量は333kg。
生産量300kg未満の小規模農家等が全体の約6割(84戸)を占めている。

【2023年度の繭生産量区分別の農家等の戸数】



【生産量区分別の農家等の割合】



3. 農家の年齢構成と生産規模と生産量

繭生産量300kg以上の比較的規模の大きな養蚕農家(45戸)のうち、約8割(34戸)が70歳以上の農家。

繭の総生産量(40,806kg)のうち、約3/4(29,762kg)が70歳以上の農家(47%が70代の農家、26%が80代の農家)によって担われている。

なお、企業・団体の総生産量は4,457kgで全体の1割程度。

【農家の経営主の年齢構成・生産規模別戸数と総生産量】

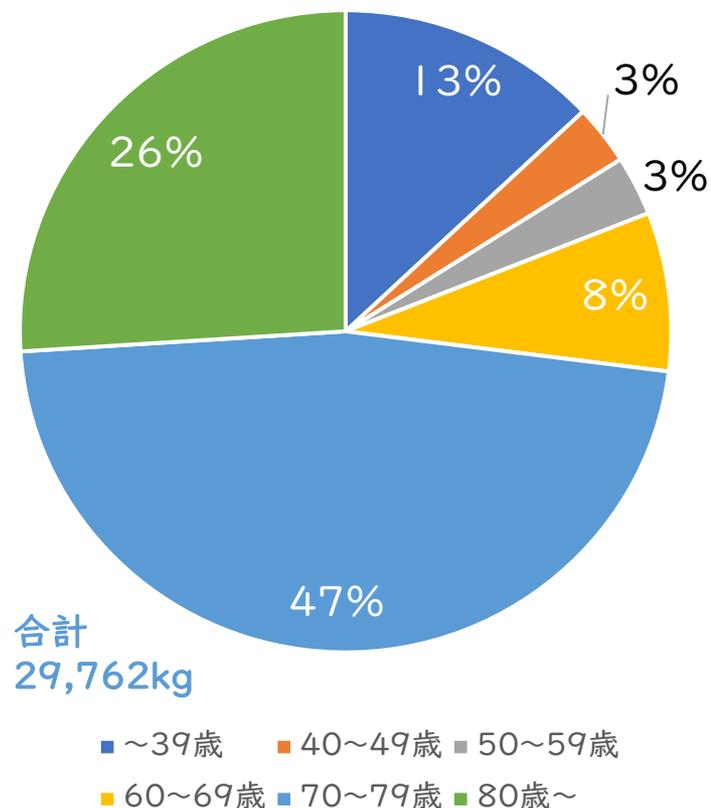
(単位:戸、kg)

経営主の年齢	1~300kg		300~600kg		600~900kg		900kg~		合計	
	戸数	総生産量	戸数	総生産量	戸数	総生産量	戸数	総生産量	戸数	総生産量
~39歳	3	428	1	486	3	2,260	2	2,128	9	5,303
40~49歳	7	819	1	403	0	0	0	0	8	1,222
50~59歳	8	997	1	353	0	0	0	0	9	1,350
60~69歳	11	1,595	1	300	2	1,274	0	0	14	3,169
70~79歳	22	2,850	10	4,242	7	5,098	6	6,918	45	19,107
80歳~	18	2,709	7	2,852	1	799	3	4,296	29	10,655
合計	69	9,398	21	8,636	13	9,431	11	13,342	114	40,806

合計45戸

合計34戸

【農家の経営主の年齢別の総生産量割合】

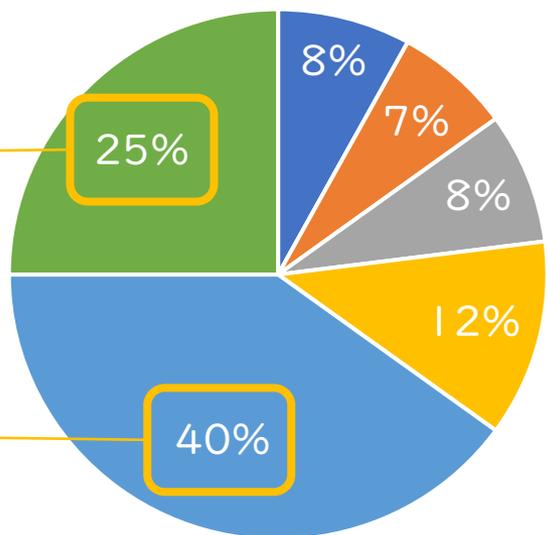


4. 農家の経営主の年齢構成と後継者の有無

農家の経営主のうち70歳以上が全戸数の65%(74戸)を占める。70代の農家の9割、80代の農家の8割は後継者がいない。

全農家の繭総生産量(40,806kg)のうち、57%(23,146kg)が後継者のいない70歳以上の農家によって担われている。

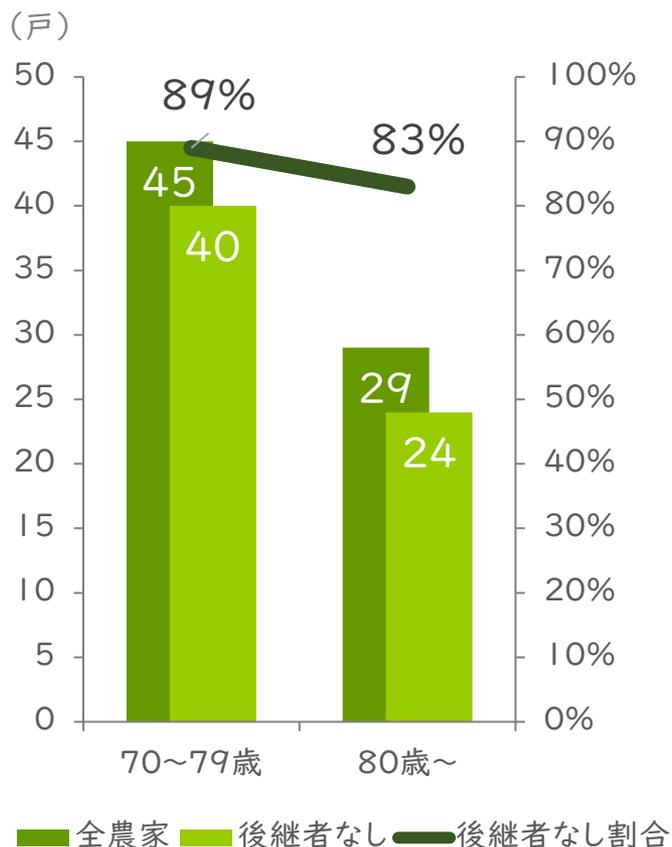
【農家の経営主の年齢別の戸数割合】



合計65%

■ ~39歳 ■ 40~49歳 ■ 50~59歳
■ 60~69歳 ■ 70~79歳 ■ 80歳~

【農家の経営主の年齢と後継者の有無】



【農家の経営主の年齢・後継者の有無別の総生産量】

(単位:kg、戸)

	後継者有	後継者無
70~79歳 (45)	4,115 (5)	14,992 (40)
80歳~ (29)	2,501 (5)	8,154 (24)
合計 (74)	6,616 (10)	23,146 (64)

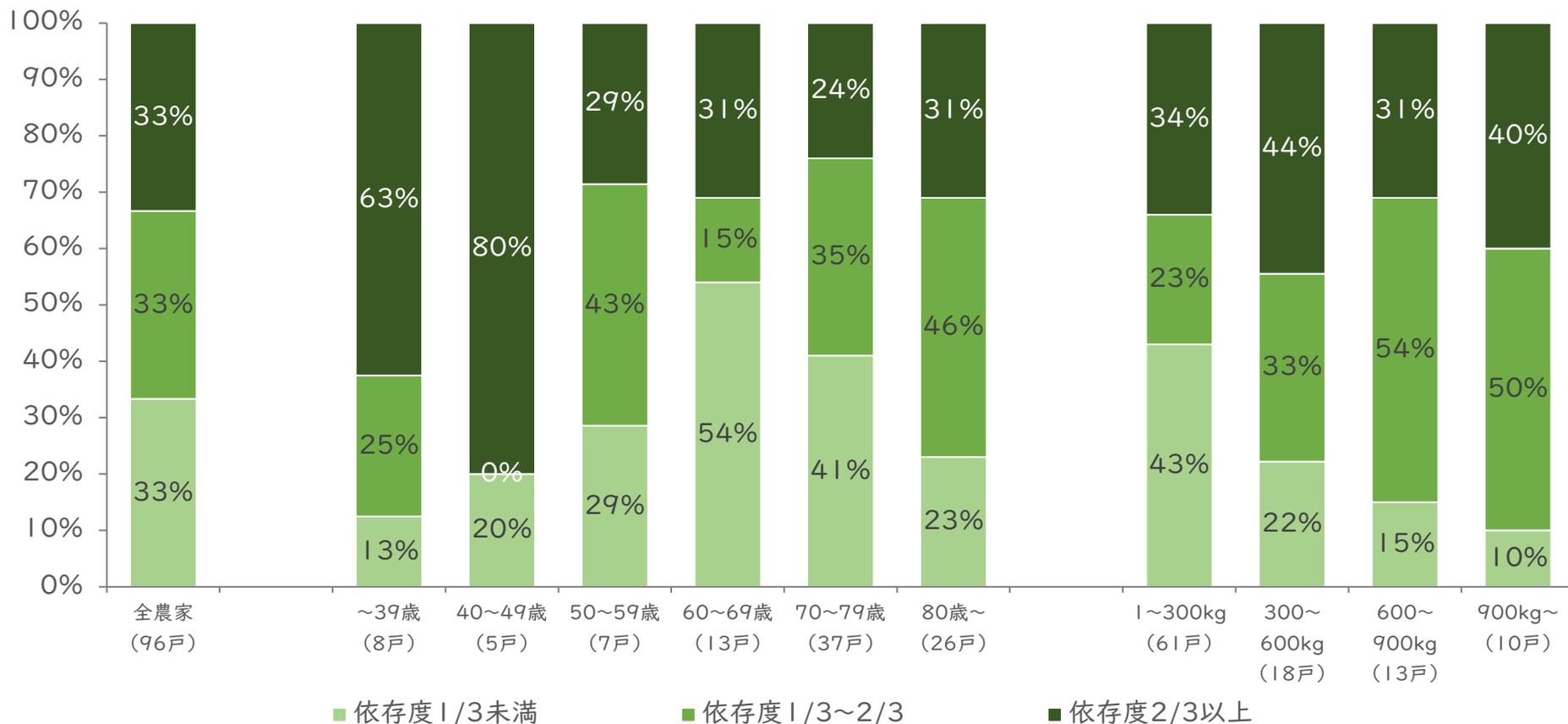
5. 養蚕農家の複合経営の状況

養蚕農家の養蚕への依存度（農業生産額に占める繭の生産額の割合）について質問したところ、96戸から回答があり、全農家では、依存度1/3未満、1/3～2/3、2/3以上がそれぞれ1/3であった。経営主の年齢別でみると、経営主の年齢が49歳以下は、依存度2/3以上の割合が高かった。

[全農家]

[経営主の年齢別の戸数割合]

[経営規模別の戸数割合]



6. 農家の経営主の年齢と将来の生産規模に対する意向と課題

将来の生産規模について質問したところ114戸から回答があり、農家全体のうち約6割が「現状維持」。「拡大」する意向を示したのが約1割、「縮小」または「廃業」が約3割であった。70代、80代の農家についてみると、約4割が「縮小」または「廃業」の意向であった。

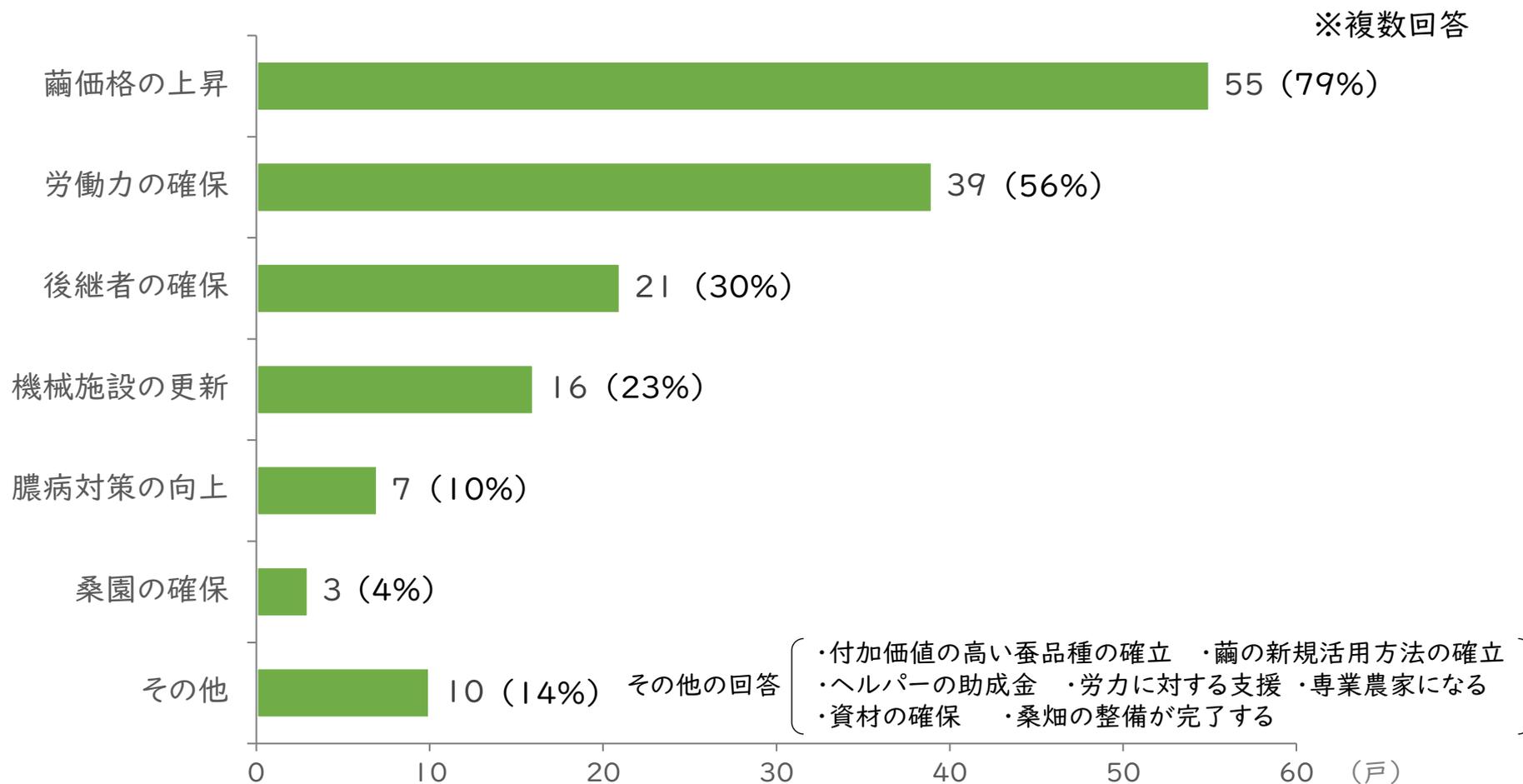
【「農家の経営主の年齢構成」と「将来の生産規模に対する意向」別の戸数】

経営主の年齢	拡大		現状維持		縮小		廃業		合計	
～39歳	5	(56)	3	(33)	1	(11)	0	(0)	9	(100)
40～49歳	3	(38)	3	(38)	1	(13)	1	(13)	8	(100)
50～59歳	1	(11)	7	(78)	1	(11)	0	(0)	9	(100)
60～69歳	2	(14)	10	(71)	2	(14)	0	(0)	14	(100)
70～79歳	0	(0)	28	(62)	14	(31)	3	(7)	45	(100)
80歳～	0	(0)	18	(62)	8	(28)	3	(10)	29	(100)
合計	11	<10%>	69	<61%>	27	<24%>	7	<6%>	114	<100%>

合計38% (70～79歳, 80歳～の縮小合計)
合計38% (70～79歳, 80歳～の廃業合計)
合計30% (70～79歳, 80歳～の合計)

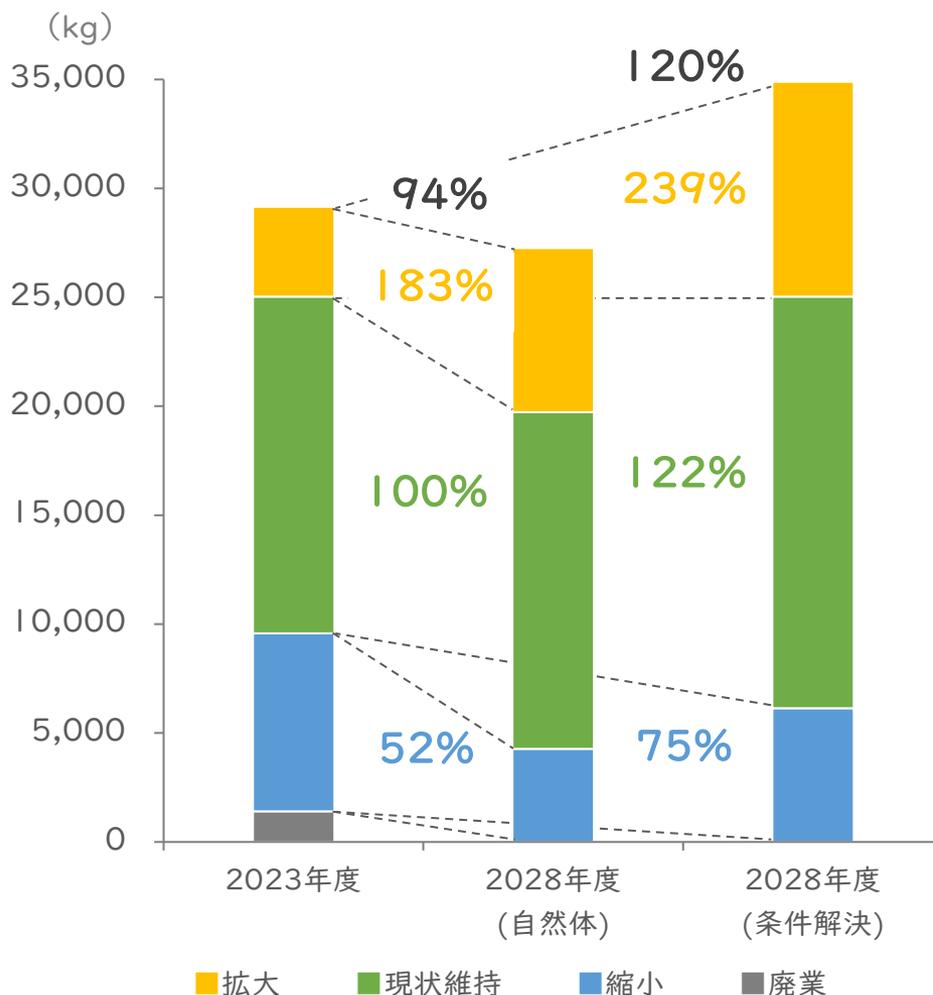
7. 養蚕を継続していく上での課題

今後も養蚕を継続していく上での課題について質問したところ70戸から回答があり、79%が「繭価格の上昇」と回答。次いで「労働力の確保」が56%、「後継者の確保」が30%と労働力の課題であった。



8. 5年後の生産量予測と諸課題が解決した場合の予測の変化

5年後（2028年度）の生産量の予測について質問したところ78戸から回答があり、2028年度の総生産量は、2023年度と比較し6%減少するという予測。仮に、繭価格の上昇や労働力の確保等の条件が解決された場合、2023年度と比較し20%増加すると予測。



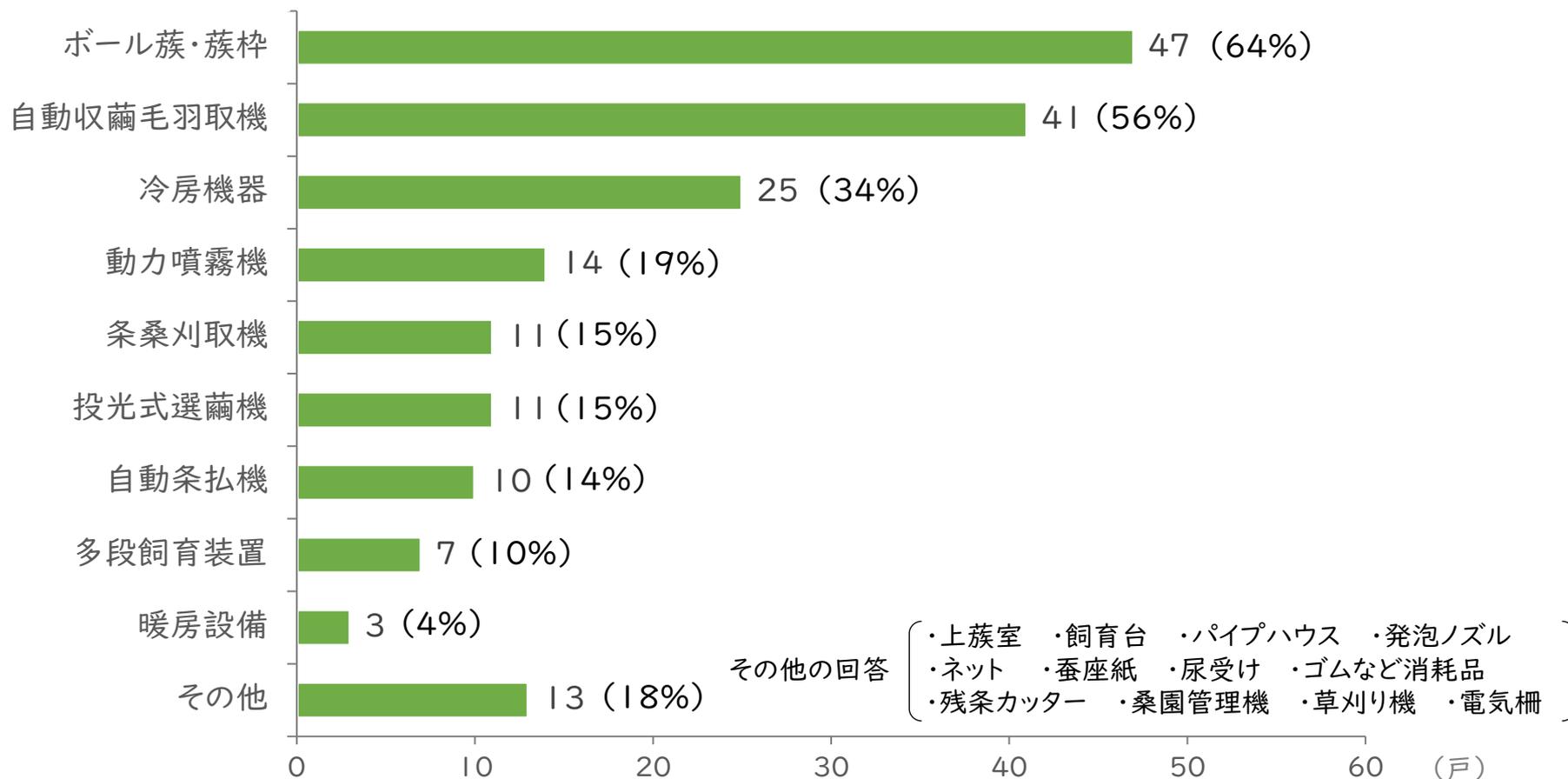
(単位:kg,%)

将来の 生産規模の 意向	2023 年度	2028年度 (自然体)		2028年度 (条件解決)	
		生産量	変化率	生産量	変化率
拡大	4,122	7,530	183	9,860	239
現状維持	15,454	15,454	100	18,885	122
縮小	8,163	4,277	52	6,144	75
廃業	1,412	0	0	0	0
合計	29,151	27,261	94	34,889	120

9. 養蚕を継続する上で更新が必要な機材

今後養蚕を継続していく上で、更新等が必要な機材について質問したところ、73戸から回答があり、半数以上がボール簇や簇枠、自動収繭毛羽取機の更新が必要と回答。次いで、近年の猛暑により冷房機器の更新の必要性の指摘が多かった。

※複数回答



養蚕農家調査票

（注）本調査票については、本会の内部資料とし、個人や企業の個別の情報が漏れないよう、その取扱いに十分注意いたします。本調査のとりまとめ結果については、今後の養蚕業の振興を図るための検討資料として使用したり、HPで公開することがあります。
すでに記入済みの箇所での訂正がありましたら、お手数ですが斜線を引いてご記入願います。

代表者情報

代表者氏名		番号		
所在地		生年月日	S	H
電話番号		年齢	R8.10.1現在	
メールアドレス				
JA名				
調査担当者氏名	電話番号			

家族等構成

R8.10.1現在

<記入例>

氏名	続柄	年齢	養蚕従事比重
	本人		
養蚕太郎	本人	80	◎
養蚕花子	妻	55	△
養蚕一郎	長男	30	○
養蚕二郎	次男	20	-

注 ① 家族等（常時雇用者を含む。）のうち農業従事者について記入してください。
② 養蚕従事比重の欄には、主担当に◎、副担当に○、補助に△を記入してください。

後継者等の有無

後継者等（経営継承者を含む。）について伺います。
該当の欄に○を記入し、予定ありの場合は時期と年齢をご記入ください。

あり	既に就農中		
	将来就農予定	就農時期（和暦）	
		令和	年頃
なし			

繭生産概況

① 令和5年産繭生産量 kg

② 今後の生産意向についてお聞かせください。該当欄に○をご記入ください。
今後生産を 拡大 現状維持 縮小 したい。

③ 上記で「拡大」又は「縮小」と答えた方にその時期等をお伺いします。

<いつ頃>	<生産量kg>	<記入例>
2025年		2025年 200
2026年		2026年 200
2027年		2027年 200
2028年		2028年 250
2029年		2029年 250
2030年		2030年 300
2031年以降		2031年以降 300

kgにする。

④ 将来以下のような条件が変わった場合の生産意向について、該当欄に○と数量をご記入ください。

<条件>	<いつ頃>	<生産量kg>
繭の価格が上がれば	2025年	
労力が確保できれば	2026年	
機械・施設の更新ができれば	2027年	
後継者が確保できれば	2028年	
その他()	2029年	
	2030年	
	2031年以降	

kgにする。

⑤ 養蚕用の機械について更新が必要なものがありましたら、該当欄に○をご記入ください。

糸巻刈取機	投光式選繭機
多段循環型飼育装置	動力噴霧器
自動糸払機	大型扇風機
自動取繭毛羽取機	ボール糞・糞枠
その他()	

桑園等経営面積

(単位：a)

水田	桑園			うち借地	うち機械収獲桑園	普通畑	樹園地	山林	合計	備考
	完成	未成	計							

農業粗収入（令和5年）

区分	粗生産額（千円）	割合（%）	生産量（kg）	備考
繭				
米				
その他()				
小計		100%		
農外収入				
合計				

ご協力ありがとうございました。

【参考】アンケートフォーム（企業・団体向け）

養蚕農家調査票

（注）本調査票については、本会の内部資料とし、個人や企業の個別の情報が漏れないよう、その取扱いに十分注意いたします。本調査のとりまとめ結果については、今後の蚕糸業の振興を図るための検討資料として使用したり、HPで公開することがあります。
すでに記入済みの箇所が訂正がありましたら、お手数ですが斜線を引いてご記入願います。

代表者情報

会社名		番号	
代表者氏名	役職		
所在地			
担当者氏名	役職		
電話番号			
メールアドレス			
JA名			
調査担当者氏名	電話番号		

組織体制

R6.10.1現在

組織図

養蚕開始年月	年	月
従業員数	人数	うち 養蚕関係
正社員		
パート		

繭生産概況

- ① 令和5年産繭生産量 kg
- ② 今後の生産意向についてお聞かせください。該当欄に○をご記入ください。
今後生産を 拡大 現状維持 縮小 したい。
- ③ 上記で「拡大」又は「縮小」と答えた方にその時期等をお伺いします。

いつ頃	生産量kg	記入例
2025年		2025年 200
2026年		2026年 200
2027年		2027年 200
2028年		2028年 250
2029年		2029年 250
2030年		2030年 300
2031年以降		2031年以降 300

kgにする。

- ④ 将来以下のような条件が変わった場合の生産意向について、該当欄に○と数量をご記入ください。

条件	いつ頃	生産量kg
繭の価格が上がれば	2025年	
労力が確保できれば	2026年	
機械・施設の更新ができれば	2027年	
後継者が確保できれば	2028年	
その他()	2029年	
	2030年	
	2031年以降	

kgにする。

- ⑤ 養蚕用の機械について更新が必要なものがありましたら、該当欄に○をご記入ください。

糸繰り取機	投光式選繭機
多段循環型飼育装置	動力噴霧器
自動糸払機	大型扇風機
自動取繭毛羽取機	ボール養・簾枠
その他()	

桑園等経営面積

(単位：a)

水田	桑園			うち借地	うち機械 収穫桑園	普通畑	樹園地	山林	合計	備考
	完成	未成	計							

農業粗収入（令和5年）

区分	粗生産額（千円）	割合（%）	生産量（kg）	備考
繭				
米				
その他()				
小計		100%		
農外収入				
合計				

ご協力ありがとうございました。